

2018年6月26日
株式会社三菱UFJ銀行

三菱地所株式会社が発行する「グリーンボンド」への投資について

株式会社三菱UFJ銀行（取締役頭取執行役員 三毛 兼承^{みけ かねつぐ}、以下「当行」）は、このたび三菱地所株式会社（執行役社長 吉田 淳一^{よしだ じゅんいち}、以下「三菱地所」）が発行する「グリーンボンド（2018年6月）」へ投資を決定いたしました。

本債券により調達された資金は、東京駅日本橋口前にて開発中の「東京駅前常盤橋プロジェクト（大手町二丁目常盤橋地区第一種市街地再開発事業）」のA棟建設資金に充当される予定です。

本債券は、環境省が公募により選定した平成30年度グリーンボンド発行モデル創出事業に係るモデル発行事例に選定され、「グリーンボンドガイドライン2017年版^{*1}」に適合していることが確認されています。

グリーンボンドとしての適格性には、第三者機関としてESG評価会社であるSustainalytics（サステナリティクス）よりセカンドオピニオンを取得しております。また、本債券発行に関して、株式会社格付投資情報センター（以下、R&I）より「R&Iグリーンボンドアセスメント^{*2}」の最上位評価である「GA1」の評価を取得しております。

当行は、引続き責任ある機関投資家としての責務を果たし、持続可能な社会の形成の貢献に努めてまいります。

以上

*1 グリーンボンド原則との整合性に配慮しつつ、市場関係者の実務担当者がグリーンボンドに対する具体的対応を検討する際に参考とし得る、具体的対応の例や我が国の特性に即した解釈を示すことで、グリーンボンドを国内でさらに普及させることを目的に、環境省が2017年3月に策定・公表したガイドライン

*2 グリーンボンドで調達された資金が、環境問題の解決に資する事業に投資される程度に対するR&Iの意見